

三次市でハウスアスパラガスが拡大

【平成 29 年 3 月 28 日掲載】

三次市内におけるアスパラガス栽培は、これまで露地栽培が中心でしたが、平成 28 年では全栽培面積 28.2ha のうち 17% にあたる 4.8ha がハウス栽培となっています。平成 29 年度には、さらにハウス面積が 1.3ha 拡大する見込みです。

ハウス栽培では、①高単価となる春芽の収穫量が増加する、②収穫時期を長期化でき、単収が大幅にアップする、③降雨の影響を受けないため、病害の激減と管理・収穫作業性の向上などのメリットがあります。ハウス導入には 10a あたり 400 万円程度の経費がかかりますが、要件を満たせば市などの支援事業を受けることができます。

また、安定して高収量・高収益を確保できることから、集落法人によるハウスアスパラガス栽培も増えています。平成 24 年にハウス栽培を開始した（農）はいづか（代表 藤川 義人（ふじはらよしと）、構成員 43 名）では、平成 28 年に JA 三次での平均単収の 4 倍にあたる 2.8t/10a の収穫量がありました。法人担当者は「ハウス栽培は収益が安定し、作業性も良いことから集落法人に向いている。平成 29 年度にはハウス栽培面積を拡大し、さらなる高収益を目指します。」と話されていました。

北部農業技術指導所はアスパラガスの病害虫防除、優良品種の選定、労務分析支援により、アスパラガス生産者の収益アップを支援していきます。



【今が旬のハウスアスパラガス】



【アスパラガス研修会の様子】

情報提供元

北部農業技術指導所